

1号報告 1-1

平成30年度事業計画書

1. 会員

会員への各種情報提供機能の強化、協賛行事の拡大など会員サービスの向上をはかり、正会員・維持会員の増加に務める。

2. 会誌

学術雑誌としての性格を維持し、会員のオリジナルな研究論文・技術論文・総合論文の掲載に重点をおくが、会員にとっての親しみやすい会誌にするため、色材に関する先端技術から実用技術までを含めた平易な総説、解説、資料、講座、新製品、新技術紹介などを掲載し、会員の啓蒙、技術情報の提供を図る。

3. 行事

行事の予定は次のとおりである。

	行事名	開催日	開催地
本部	色材協会研究発表会（近畿大学）	9/6,7	大阪
	各研究会	未定	東京
関東支部	第27回顔料分散講座	2/19	東京
	印刷インキ講座	5月	東京・大阪
	塗料講演会	5月	東京
	第59回塗料入門講座	6,7月	〃
	印刷インキアドバンス講座	10月	東京・大阪
	塗料アドバンス講座	11月	東京
	第43回顔料物性講座 第15回色材IT講座	11月 12月	〃 〃
関西支部	色材マテリアル講座	2/7	大阪
	色材セミナー	5月	〃
	色材分散講座	7月	〃
	第51回塗料基礎講座	8月	〃
	色材産業紹介セミナー	11月	〃
	色材講演会	12月	〃
中部支部	色材セミナー	3/16	名古屋
	色材オブザベーション（見学会）	6月	未定
	色材分析講座	9月	名古屋
	第49回中部化学関係学協会支部連合秋季大会	11月	名古屋
	色材アドバンスセミナー	12月	名古屋

4. 委員会

(1)企画運営委員会	理事会の補佐機関として、将来計画を含む協会業務の全般的な企画、運営を図る。又この中の重点課題として、協会全体の財政面の改革を取り上げ、対策の立案・推進を行う。
(2)編集委員会	協会誌に掲載する研究、技術、総合の各論文、ノート、速報等の審査を行い、総説、解説、資料、連載講座、ニュース、サロン等の企画を行う。特に、論文審査を通じて学術雑誌としての水準を維持するとともに、特集や講座の充実を図り、魅力ある協会誌作りに尽力する。
(3)ホームページ委員会	ホームページ委員会活動を活発化し、会員にとって魅力ある内容への改訂と充実を図る。新しい内容への見直しを実施する。
(4)平成30年度色材研究発表会実行委員会	色材協会研究発表会を平成30年9月6日(木)、7日(金)の2日間、近畿大学 東大阪キャンパス(東大阪市長瀬)にて開催する。特別講演、茂木記念講演、招待講演、一般研究発表、ポスター発表、協会賞(技術賞、論文賞)授賞式、同受賞記念講演、懇親会などを行う。
(5)国際化委員会	海外、特にアジア地域の色材関連機関、団体等との交流を深め、研究発表会には海外からの招待講演者を招聘する。
(6)その他の委員会	必要に応じて、理事会の議決を経て各種委員会を設け、協会業務の円滑な運営を図る。

5. 部会・研究会

(1) 顔料部会	関東、関西支部部会において、顔料に関する年間の行事と運営を行う。
(2) 塗料部会	関東、関西支部部会において、塗料に関する年間の行事と運営を行う。
(3) 印刷インキ部会	関東、関西支部部会において、印刷インキに関する年間の行事と運営を行う。
(4) インクジェット部会	関東支部において、インクジェットに関する年間の行事と運営を行う。
(5) 研究会 (i) 顔料物性研究会 (ii) 木材塗装研究会 (iii) 測色研究会 (iv) 印刷インキ技術研究会	顔料およびそれに関連する基礎研究について、研究会を開催する。 木材の塗装・塗料に関する技術向上と産業界発展のために木材塗装基礎講座の開催、研修会などの技術普及、研究活動を実施する。 メタリック、パール、肌色等の測色、色差、デジタルアーカイブ、分光イメージング等について研究会を行う。 印刷インキとその関連材料に関する技術全般の調査、研究について、総会をはじめ、研究会、講演会、見学会や関連学協会との交流等を年間5回開催する。

6. その他

(1) 公益法人としての取組み	平成25年度に公益法人の手続きが完了し、平成30年度も引き続き非営利型一般社団法人として活動を続けて行く。
-----------------	-------------------------------------------------------